

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習IV		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

小学校体育科や幼稚園・保育所における運動遊びの教育実践や保育実践について、先行研究や先行文献等の検討を通して、分析力や開発力を高めることを目的としている。また、グループによる教材開発や、それを用いた実践のシュミレーションを行う。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。卒業研究に必要な知識、技能を学ぶ。講義の内容に応じて、ディスカッション及びグループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーションー体育科教育、運動遊びの基礎理論とはー	小学校体育科や幼稚園・保育所における運動遊びの教材開発をどのように進めるかについて説明、グループ編成を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	教材研究 (研究題材の設定)	興味のある小学校体育科・運動遊び教材に関連した研究題材の設定を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	教材研究 (研究題材の設定と面談)	面談を行い興味のある小学校体育科・運動遊び教材に関連した研究題材の設定を確認する。	<input type="checkbox"/>
第4回	教材研究 (資料収集関連図書)	小学校体育科・運動遊び教材の研究に関する図書資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	教材研究 (資料収集関連記事)	小学校体育科・運動遊び教材の研究に関する記事資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	教材研究 (資料収集関連論文)	小学校体育科・運動遊び教材の研究に関する論文資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第7回	資料収集の中間発表	面談、資料収集から各自の教材研究の題材を見つけその内容を発表する。	<input type="checkbox"/>
第8回	教材研究 (実践研究と計画)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行い実践研究の計画を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	教材研究 (実践研究とレポート作成)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行いレポートの作成や実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	教材研究 (実践研究と面談)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行い面談や実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	教材研究 (実践研究)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行い実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	教材研究 (グループディスカッション)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行いその結果をグループディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究発表の準備	これまでの研究の成果をレポートで発表するための準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表 (プレゼンテーション) Aグループ	これまでの研究の成果をレポートで発表し、質疑応答に答える。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究発表 (プレゼンテーション) Bグループ	教材研究の発表の成果を踏まえ反省点や良かった点を話し合いレポートにまとめる。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

体育科授業及び運動遊びについての教材開発に関心を持ち、教育実践・保育実践に対する意欲を高める(2時間程度)。講義内で扱った教育実践事例を振り返り、考察する(2時間程度)。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

学生たちが各々の発表について意見を出し合う、また教員が解説や補足することにより、改善に向けてのフィードバックを行なう。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	成果物として卒業論文を作成することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	卒業論文の内容について発表することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	卒業研究のテーマを設定し、各自の適切な方法によって研究を遂行することができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	講義時に適宜配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	講義時に適宜配布する。	
2		
3		
4		
5		